

令和2年度 あずまし推進会議（書面開催）意見・要望について

<推進委員・オブザーバー4名より回答>

- ご苦労様です。実施報告書の内容について、現在のコロナ禍での事業の変更、縮小、中止などはやむ得ないと思います。
- 今後もコロナとの戦いは続くと思いますが、いつか委員の皆様、事務局の皆様、そして鳥居先生と顔を合わせてお話ができることを心よりお待ちしております。
- コロナ対策で行えなかったことが多々ありましたが、形を変えて行ったりとコロナのせいにせず感心しました。
- コロナだから出来ないことはあると思いますが、コロナだからこそ、町民が町民に出来ることもあると思いました。
- まだまだ気を引きしめて感染対策をしていかないといけませんが、コロナだからこそやるべきことを探していきたいと思いました。
- 今年度はコロナウィルスの感染予防対策をしながら事業実施で制限がある中、可能な限りのことができたと思います。
- Z o o mを使ったオンライン研修には、当センターの職員も参加させていただきましたが、グループワークがオンラインでありながら有効にできたことを喜んでいました。また、内容としても支援者としての自分の価値観の見直しができ、自己理解が深まる機会になったと話しておりました。
- ワクチンの接種が開始になることで、事業の参加者が再び戻って来て欲しいです。今年は豪雪の問題もあり、課題の多い年度でしたが課題が人と人を結びつけるきっかけにもなっていると実感することも多々ありました。通常の事業を継続していけるように、計画を中心的に支える側もセルフケアをしていけたらと思います。
- コロナ禍での新しい生活様式に対応するため推進委員やオンライン不慣れな方に勉強会を開催してはいかがでしょうか？
- あずまし食堂は、お弁当での開催ができないか検討願います。